



県内調査の概要

総務地域連携交通 常任委員会

【県内調査の状況】
実施日 7月19日、20日

四日市市の総合型地域スポーツクラブでは、楠中学校との部活動の地域連携・地域移行の取り組みについて、明和町では、「アソイソコめいひめ」などのデマンド型交通の取り組みについて、木本高等学校では、地域と連携した野球部の活動状況について調査しました。

また、今年4月に開館した世界遺産熊野古道館では、熊野古道を活用した観光振興の取組状況について、尾鷲市のマルシェでは、有志の若者らにより整備された商業施設でのまちのにぎわい創出の取り組みについて、県立熊野古道センターでは令和6年の熊野古道世界遺産登録20周年も見据えた現在の取組状況などについて調査しました。



世界遺産熊野古道館

環境生活農林水産 常任委員会

【県内調査の状況】
実施日 7月20日、21日

みえ森林・林業アカデミーでは、今後の林業を担う人材を育成する取り組みについて調査するとともに、松阪市では茶の生産者から後継者対策や海外輸出の課題などについて調査しました。

御浜町では、主産業の一つであるみかん産地を持続していくため、県内外から受け入れている移住者の後継者育成に関する取り組みについて調査しました。また、尾鷲市では、水産会社から今後の輸出促進に向けた展望などを調査するとともに、尾鷲市水産農林課職員が取り組んできた藻場の再生に向けた研究成果について調査しました。



みえ森林・林業アカデミー

防災県土整備企業 常任委員会

【県内調査の状況】
実施日 7月20日、26日

本年4月に先行して管理棟と屋内運動施設が完成した香良洲高台防災公園では、災害時避難施設としての現地調査を、広域的ネットワークを担う国道167号磯部バイパスでは、トンネル工事の現地調査を、志摩市の建設会社では、地域防災活動に関する調査を行いました。

また、近畿地方整備局木津川上流河川事務所伊賀上野出張所では、遊水地事業および遊水地の仕組みについての現地調査を、川上ダムでは、ダムの洪水調節機能についての現地調査を行い、遊水地事業と合わせて伊賀地域における治水対策について調査を行いました。



志摩市の建設会社

政策企画雇用経済観光 常任委員会

【県内調査の状況】
実施日 7月19日、27日

桑名市の産業機械メーカーでは、バーチャル・リアリティー事業や遠隔作業支援システム等、コロナ禍を経て注目を集める事業について、四日市市のクラウド化支援を行う企業では、県内の企業・自治体のデジタルトランスフォーメーションを支援する事業について調査しました。

また、大紀町では、人口減少対策や観光・産業振興の取り組みについて、多気町では、行政区域の枠を超えた広域連携とデジタルの実装による地方創生の取り組みについて調査しました。



四日市市のクラウド化支援を行う企業

医療保健子ども福祉病院 常任委員会

【県内調査の状況】
実施日 7月21日、27日

桑名市のお寺では、子どもの居場所づくりの取り組みなどについて調査し、桑名市社会福祉協議会の多世代共生施設「らいうむの丘」では、地域共生社会に向けた重層的支援の取り組み、介護・福祉分野の人材確保に向けた取り組みについて調査しました。

また、多気町では、医療Maasとオンライン診療による新たな医療提供体制のあり方について調査を行い、三重県児童相談センター・中勢児童相談所では、児童虐待防止の取り組みについて調査しました。



児童相談センター

教育警察 常任委員会

【県内調査の状況】
実施日 7月5日、26日

西日野にじ学園と北星高等学校を訪問し、特別支援教育や通信制・定時制教育における課題や、新型コロナウイルス感染症の児童生徒への影響について調査しました。

三重大学教育学部と津市教育委員会が共同で設置した三重大学・津市子ども教育センターでは、不登校児童生徒等への支援について調査し、津市立一志東小学校では、教員の働き方改革について調査を行いました。

また、警察本部にて自動通話録音警告機を使った特殊詐欺被害防止対策を体験するとともに、110番センターの高度化した通信指令システム等について調査を行いました。



県立特別支援学校西日野にじ学園

子どもに関する政策討論会設置

子どもに関する喫緊の政策課題について、子どもに寄り添った政策立案および政策提言に関して調査・検討するため、6月30日に議決により「子どもに関する政策討論会」を設置しました。

- | | |
|-----|-------------------|
| 座長 | 中森 博文 (議長) |
| 副座長 | 杉本 龍神 (副議長) |
| 委員 | 世古 明、熊野 啓介、石垣 智矢 |
| | 稲森 稔尚、藤根 正典、小島 智子 |
| | 石垣 昭義、東 豊、今井 智広 |

再生可能エネルギーに関する検討会を設置

再生可能エネルギーの導入に関して、調査・検討するため、6月30日に議決により「再生可能エネルギーに関する検討会」を設置しました。

- | | |
|-----|-------------------|
| 座長 | 津田 健児 |
| 副座長 | 平畑 武 |
| 委員 | 吉田 紋華、廣 耕太郎、野口 正幸 |
| | 小林 哲史、長田 隆尚、舟橋 裕幸 |
| | 三谷 哲史、服部 富男 |

「令和5年版県政レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関する申し入れ

8月1日、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会から知事に対し、次のとおり申し入れを行いました。

1 実効性のある人口減少対策の推進について

「三重県人口減少対策方針」に基づき取り組みの推進にあたって、単なる事業のとりまとめや進行管理のみに終始せず、効果検証や社会情勢の変化を踏まえ、足らざる取り組みを補いながら、戦略的で実効性のある取り組みを進めるとともに、地域の実情を十分に踏まえた対策を進めること。

2 財政運営について

- 歳入歳入両面から見直しを行い、経常的な支出の抑制と多様な歳入確保策の推進等により必要な財源を確保すること。
- 県債管理基金の積み立て不足の早期解消に努めること。
- 緊急の課題に対しては的確かつ迅速に対応するとともに、県民の安全安心のためのインフラ整備といった将来を見据えた投資についても検討を進めること。



文書による質問

三重県議会基本条例第14条の2の規定に基づき、次のとおり文書による質問が提出されました。

○稲森稔尚議員(草の根運動いが)「みえ出逢いサポーターセンター」が紹介する結婚支援事業のコンテンツに関する問題点について

※質問と回答は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

